



国際ダークスカイ協会 東京支部 (IDA 東京) 事務局
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学経営学部越智研究室
Fax: 03-3945-7477 Mail: ochi (at) idatokyo (dot) org

プレスリリース カテゴリー【環境・サイエンス】

報道関係者各位

2014年1月20日

星の見え方を観測・報告するアプリ「Loss of the Night」日本語版を公開 光害問題の研究に役立つ「夜空の明るさ世界マップ」作成に貢献

- 世界規模の光害調査に参加できる Android 端末用アプリ「Loss of the Night」の日本語版を公開しました。これは Google Sky Map アプリをベースに、星の見え方を測定する機能を追加したものです。端末を空に向け、実際の夜空と見比べて、指定された星が見えるかどうかを入力します。ドイツの光害研究プロジェクト「Verlust der Nacht」が発元し、国際ダークスカイ協会東京支部 (IDA 東京) が日本語版の製作協力をしました。
- 人工照明により夜空が明るく照らされる「光害(ひかりがい)」により、都市部では美しい星空を見ることができません。またこの問題は天文学にとどまらず、世界中の研究者が、人工光による人体への影響、社会への影響、環境への影響を調べています。このアプリを使用し、自分の住む地域からの星の見え方を観測・送信することで、光害研究のための貴重なデータベースとなる「夜空の明るさ世界マップ」の作成に貢献できます。
- このアプリを使用して送信されたデータは、1月20日から実施される夜空の明るさ世界同時観測キャンペーン「GLOBE at Night」と共有されます。いま夜空に見えている星の数(光害の進行度)が、世界各地の都市や地域と比べてどうなのか、簡単に知ることができます。
- 「Loss of the Night」は現在までに計11ヶ国語に翻訳され、世界中からすでに7,000件以上の観測報告が寄せられています。
- アプリ(無料)は、下記アドレスまたは Google Play で「光害」を検索 <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.cosalux.welovestars>



■ 国際ダークスカイ協会 (IDA)、IDA 東京とは

国際ダークスカイ協会は、人工照明による光害問題に取り組む NPO 団体です。IDA 東京は、その日本国内の支部として 2013 年 1 月に開設されました。環境分野・照明分野・天文分野などの専門家が集まり、光害を抑え省エネにも配慮した良好な光環境の形成を目指し活動しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

国際ダークスカイ協会 東京支部 事務局 (担当: 越智^{おちの}信彰)
FAX: 03-3945-7477 E-mail: ochi (at) idatokyo (dot) org